

# かんたんガイド

QG28662605

## R2283 PSH-3E0310P-E/M(B)

PoEスイッチングハブ 10ポート(PoE+対応8ポート + ギガビット2ポート) 最大80W給電

### 特徴

本製品は、8ポートPoE(IEEE802.3af/at)+2ギガビットポートを備えたファンレス設計の高速イーサネットスイッチです。最大80WのPoE給電に対応し、1ポートあたり最大30Wを供給可能。長距離伝送モード(Extendモード)設定時は最大300mまで対応し、監視カメラやネットワーク機器の安定運用を実現します。堅牢な金属筐体と6kVサージ保護機能を搭載し、静音かつ高信頼性を提供します。

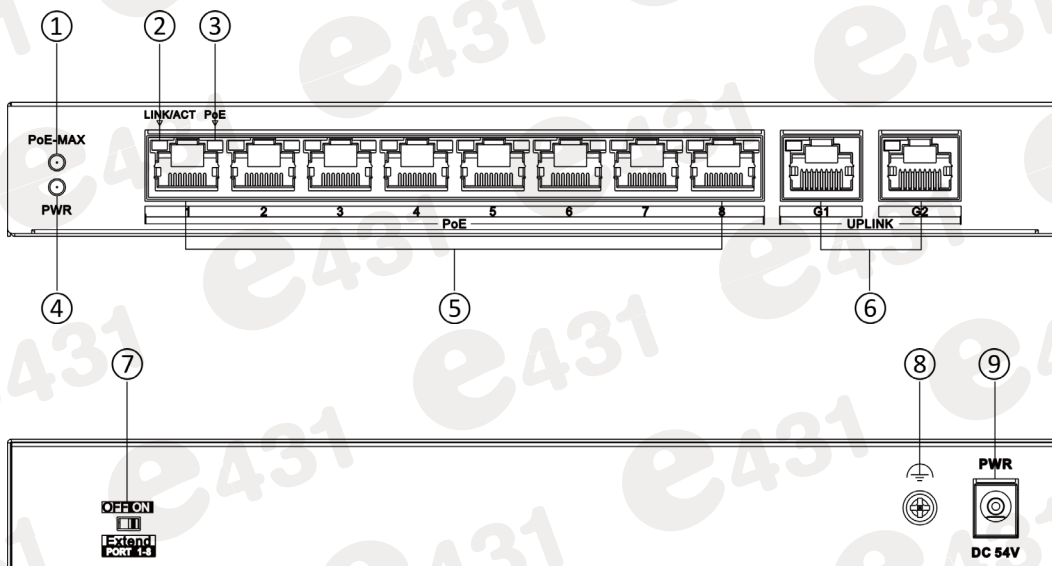
### 付属品

スイッチ	× 1	電源アダプター	× 1
AC電源コード	× 1	かんたんガイド	× 1

### ⚠ 注意

- 本機の設置および使用に際しては、各国・各地域の電気安全規則を厳守してください。
- 付属の電源アダプターのみを使用し、指定外のアダプターに交換しないでください。
- 製品が正常に動作しない場合は、販売店または最寄りのサービスセンターへご連絡ください。  
(許可なく修理・保守によって生じた問題につきましては、当社は責任を負いかねます)
- 高温になるおそれのある上部カバー部には触れないでください。
- ケーブル接続、機器の設置・取り外しの作業中は、必ず電源を切ってください。
- インターネットに接続して本機を使用する場合、ネットワークセキュリティ上のリスクが生じる可能性があります。個人情報およびデータの保護を強化してください。
- すべてのパスワードおよびその他のセキュリティ設定の適切な構成は、設置業者の責任です。ユーザー名およびパスワードは適切に管理してください。
- 元の梱包材は大切に保管してください。製品が正常に動作しない場合は、出荷の際にスイッチを元の梱包材で梱包してください。不適切な梱包材による輸送中の損傷について、当社は責任を負いかねます。
- PoEポートから給電される機器については、筐体の保護および難燃性を確保してください。本スイッチはLPS (Limited Power Source) 規格に適合していません。

### 外観



## ポート/インジケータの説明

番号	ポート/インジケータ	説明
①	PoE - MAX インジケータ	点灯(常時): スイッチの出力電力が上限に近づいているか、またはすでに上限に達しています。 さらに多くのデバイスを接続すると、電源が異常になる可能性があります。 消 灯: PD(受電機器)に電力を供給していないか、またはPDに正常に電力を供給しており、その出力電力に余裕があります。 *) スイッチの出力電力が正常に戻った場合、約5秒以内に消灯します。
②	LINK / ACT インジケータ	点灯(常時): ポートが接続されています。 点 滅: ポートがデータを送受信しています。 消 灯: ポートが接続されていないか、接続が異常です。
③	PoE インジケータ	点灯(常時): PD(受電機器)に正常に電力を供給しています。 消 灯: PD(受電機器)が接続されていないか、電力供給が異常です。
④	PWR インジケータ	点灯(常時): スイッチが正常に電源オンされています。 消 灯: 電源が接続されていないか、電源が異常です。
⑤	PoEポート(1~8)	ネットワークケーブルを介してPD(受電機器)に接続するために使用されます。
⑥	UP LINKポート(G1, G2)	ネットワーク機器(PC, ルーター、他のスイッチなど)を接続します。
⑦	DIP SW	スイッチを「ON」側に切り替えることで、エクステンドモードが有効になります。 (ポート1~8は最大 300メートルのネットワーク伝送に対応しています)
⑧	接地端子	雷サージや静電気からスイッチを保護するために接地ケーブルを接続します。
⑨	電源端子	付属の電源コードを使用し、電源アダプターのDCプラグを接続します。

## 設置方法

現場環境に応じて適切な設置方法を選択してください。

### 開始する前に

- ・ 卓上または壁が安定してしっかりとしたものであることを確認してください。
- ・ 部屋を十分に換気してください。装置の周りに少なくとも10cmの距離を確保して、放熱を行ってください。
- ・ ラック取付けの場合、隣接する2つの機器間に最低 1.5 cm の垂直距離を確保してください。

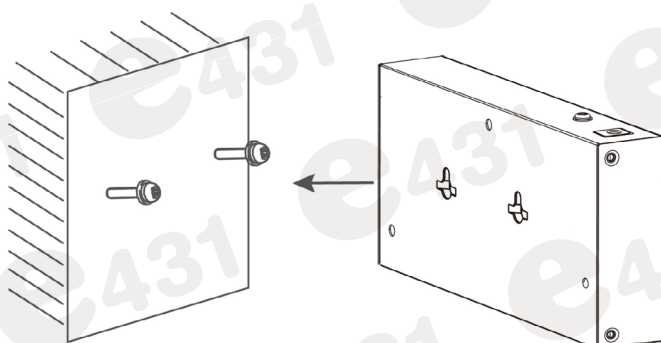
### デスクトップ設置

卓上に設置します。

### 壁掛け設置

手順

1. デバイスの下部にある2つの取付け穴間の距離を確認します。
2. 別途ご用意頂いたM4 ネジ2本を壁に挿入します。
3. 取付け穴をネジに合わせて、デバイスをネジに掛けます。



▲壁取り付けインストール



- ・ 壁の耐荷重は、機器重量の3倍以上である必要があります。
- ・ 2本のネジ間の距離が2つの取付け穴間の距離と等しいことを確認してください。
- ・ ネジ本体の少なくとも4mmが壁の外側に出ていることを確認してください。

## 接地

### アース接地ケーブルの接続

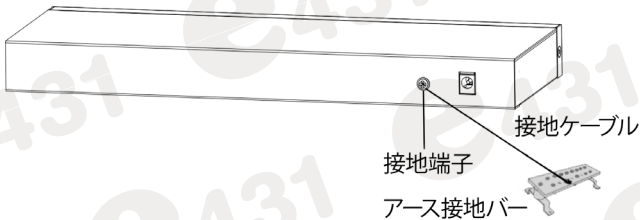
アース（接地）は、本機に落雷によって引き起こされるスイッチの過電圧と過電流を迅速に放出し、人身の安全を確保するために必要です。必要に応じて、適切なアース接地方法を選択してください。

#### ▷ アース接地バーがある場合

設置場所にアース接地バーがある場合は、以下の手順に従ってください。

##### 手順

1. アース接地ケーブルの一端をアース接地バーの端子に接続します。
2. アース接地ケーブルのもう一端を機器のアース接地端子に接続し、ネジを固定します。

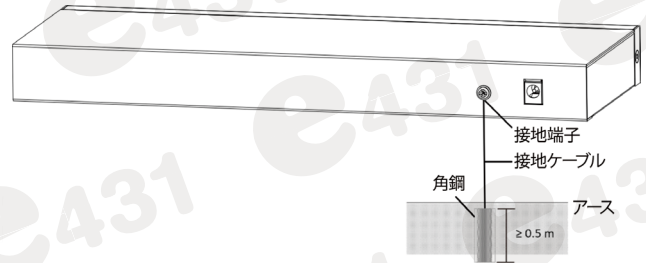


#### ▷ アース接地バーがない場合

アース接地バーはないが、アース接地が近くにあり、アース接地体を埋設することが許可されている場合は、以下の手順に従ってください。

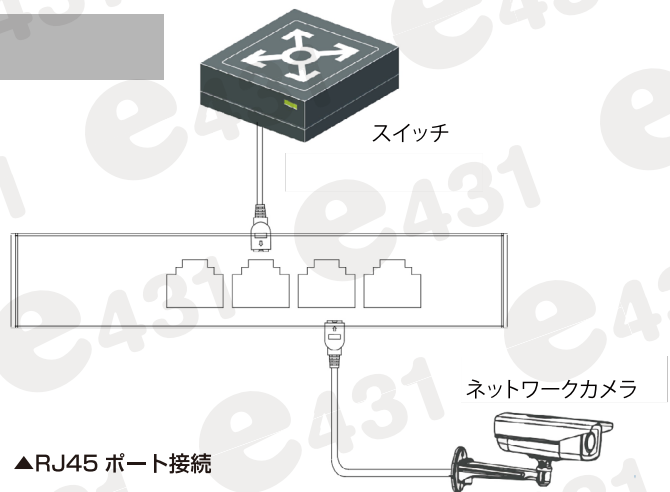
##### 手順

1. 角鋼または鋼管(≥ 0.5 m)をアース接地に埋設します。
2. アース接地ケーブルの一端を角鋼または鋼管に溶接し、メッキまたはコーティングを介して溶接部を保護します。
3. アース接地ケーブルのもう一端をデバイスのアース接地端子に接続します。



## RJ45ポートの接続

ネットワークケーブルを使用して、デバイスを IP カメラ (IPC)、ネットワークビデオレコーダー (NVR)、スイッチなどのネットワーク機器の RJ45 ポートに接続します。



## デバイスの電源投入

パッケージに付属する電源コードを使用して機器の電源をオンにしてください。

電源を投入する前に、以下を確認してください：

- 電源供給が本機の定格 (DC 54V) に適合していること。
- ポートケーブルとアース接地ケーブルが正しく接続されていること。
- 屋外配線がある場合は、ケーブルに避雷針および落雷防止装置を接続してください。



PoE 機器間の配線と AC 電源線の配線は、隣接して配線しないでください。  
PD 機器、スイッチ、または端子が焼損する可能性があります。